

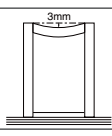
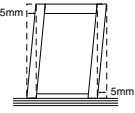
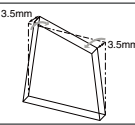
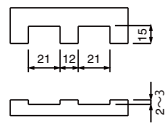
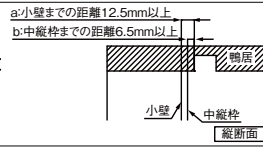
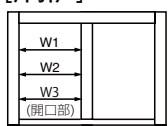
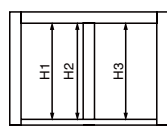
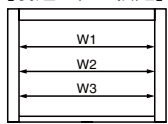
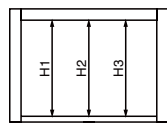
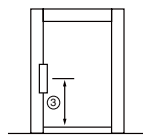
室内引戸

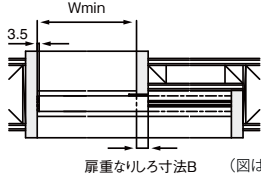
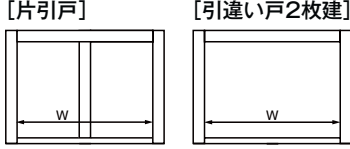
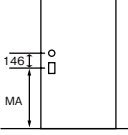
戸襖引戸

※チェック用に型紙(P.66)をご使用ください。

このチェックシートは取付け時に使用しますので必ず取付け業者様にお渡しください。

既存枠の歪み等、条件を満たさない場合は、開閉に支障をきたすため、枠ごとの交換となります。FLまたはWL・SLシリーズをご使用ください。

NO	チェック項目	詳細	チェック	結果												
既存枠の歪み	1	既存枠の垂れ下がり 3mm以内であること		<input type="checkbox"/>	_____mm											
	2	既存枠の左右倒れ 5mm以内であること		<input type="checkbox"/>	_____mm											
	3	既存枠のねじれ 3.5mm以内であること		<input type="checkbox"/>	_____mm											
	4	既存敷居の水平 水平であること(段差すき間がないこと)		<input type="checkbox"/>												
既存枠の条件	5	鴨居と敷居の形状 四七溝であること ※溝幅は20mm以上であること ※計測は何箇所か実施してください		<input type="checkbox"/>												
	6	片引戸の場合 鴨居溝端部との距離 ①12.5mm以上であること ②6.5mm以上であること		<input type="checkbox"/>	① _____mm ② _____mm											
発注時の必要寸法	7	既存枠の内法寸法 W、Hともに既存枠の内法3ヶ所を実測してください ※片引戸の場合、W寸法は、縦枠-中縦枠間を実測してください ※各箇所寸法誤差の許容範囲は3mm以内であること 【片引戸】   【引違い戸2枚建】  	<input type="checkbox"/>	内法の最小寸法(Wmin・Hmin)を○で囲んでください <table border="1" data-bbox="1117 1209 1396 1332"> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>W</td> <td>mm</td> <td>mm</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>H</td> <td>mm</td> <td>mm</td> <td>mm</td> </tr> </table>		1	2	3	W	mm	mm	mm	H	mm	mm	mm
		1	2	3												
W	mm	mm	mm													
H	mm	mm	mm													
8	錠付位置の確認 	【既存の引戸錠ストライクの加工跡の影響の確認】 既存枠の敷居面から下記寸法の位置に引戸錠ストライクの型紙(P.66)をあてて既存の引戸錠ストライクの加工と型紙の斜線部が重なっているか確認してください。重なる場合は【特別仕様】本体引手・引戸錠位置変更の指示が必要になります。 〈既存敷居面から引戸錠ストライクの中心位置までの寸法〉 <table border="1" data-bbox="494 1780 1013 1881"> <tr> <td></td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>カバー材なしの場合</td> <td>1056.5mm</td> </tr> <tr> <td>カバー材ありの場合</td> <td>1058mm</td> </tr> </table>		①	カバー材なしの場合	1056.5mm	カバー材ありの場合	1058mm	<input type="checkbox"/>	① 重なる / 重ならない 重なる場合は【No.11】へ ※重ならない場合の引手・引戸錠位置は標準加工位置になります。(納まり図P.59参照)						
	①															
カバー材なしの場合	1056.5mm															
カバー材ありの場合	1058mm															

NO	チェック項目	詳細	チェック	結果																												
9	本体発注寸法	<p>[No.7]の内法の最小寸法(Wmin・Hmin)から本体サイズ(DW・DH)を算出してください。</p>  <p>扉重なりしろ寸法B (図は片引戸を示す)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【片引戸】</th> <th>DW</th> <th>DH</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">カバー材なしの場合</td> <td>$Wmin+B-3.5mm$</td> <td>$Hmin-13mm$</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">カバー材ありの場合</td> <td>縦枠・鴨居をカバーした場合</td> <td rowspan="2">$Wmin+B-5mm$</td> <td>$Hmin-14.5mm$</td> </tr> <tr> <td>縦枠・鴨居・敷居をカバーした場合</td> <td>$Hmin-16mm$</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【引違い戸2枚建】</th> <th>DW</th> <th>DH</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">カバー材なしの場合</td> <td>$(Wmin+27)/2mm$</td> <td>$Hmin-13mm$</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">カバー材ありの場合</td> <td>縦枠・鴨居をカバーした場合</td> <td rowspan="2">$(Wmin+24)/2mm$</td> <td>$Hmin-14.5mm$</td> </tr> <tr> <td>縦枠・鴨居・敷居をカバーした場合</td> <td>$Hmin-16mm$</td> </tr> </tbody> </table>	【片引戸】		DW	DH	カバー材なしの場合		$Wmin+B-3.5mm$	$Hmin-13mm$	カバー材ありの場合	縦枠・鴨居をカバーした場合	$Wmin+B-5mm$	$Hmin-14.5mm$	縦枠・鴨居・敷居をカバーした場合	$Hmin-16mm$	【引違い戸2枚建】		DW	DH	カバー材なしの場合		$(Wmin+27)/2mm$	$Hmin-13mm$	カバー材ありの場合	縦枠・鴨居をカバーした場合	$(Wmin+24)/2mm$	$Hmin-14.5mm$	縦枠・鴨居・敷居をカバーした場合	$Hmin-16mm$	<input type="checkbox"/>	<p>DW _____mm</p> <p>DH _____mm</p> <p>※製作可能範囲をご確認ください。 室内引戸:P.24 戸襖引戸:P.28</p>
		【片引戸】		DW	DH																											
		カバー材なしの場合		$Wmin+B-3.5mm$	$Hmin-13mm$																											
カバー材ありの場合	縦枠・鴨居をカバーした場合	$Wmin+B-5mm$	$Hmin-14.5mm$																													
	縦枠・鴨居・敷居をカバーした場合		$Hmin-16mm$																													
【引違い戸2枚建】		DW	DH																													
カバー材なしの場合		$(Wmin+27)/2mm$	$Hmin-13mm$																													
カバー材ありの場合	縦枠・鴨居をカバーした場合	$(Wmin+24)/2mm$	$Hmin-14.5mm$																													
	縦枠・鴨居・敷居をカバーした場合		$Hmin-16mm$																													
10	フラット下レール発注寸法	<p>敷居内法寸法を実測し、下記算出公式に当てはめフラット下レールサイズ(W)を算出してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>W:フラット下レールの切断寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カバー材なしの場合</td> <td>$W=敷居内法-1$</td> </tr> <tr> <td>カバー材ありの場合</td> <td>$W=敷居内法-4$</td> </tr> </tbody> </table> 		W:フラット下レールの切断寸法	カバー材なしの場合	$W=敷居内法-1$	カバー材ありの場合	$W=敷居内法-4$	<input type="checkbox"/>	<p>フラット下レール長さ(W)</p> <p>_____mm</p> <p>※製作可能範囲をご確認ください。 室内引戸:P.24 戸襖引戸:P.28</p>																						
			W:フラット下レールの切断寸法																													
		カバー材なしの場合	$W=敷居内法-1$																													
カバー材ありの場合	$W=敷居内法-4$																															
11	<p>片引戸錠付</p> <p>【No.8】重なる場合のみ</p> <p>【特別仕様】 本体引手・引戸錠加工の位置変更</p>	<p>本体引手・錠加工位置の変更が必要です。</p> <p>下記変更範囲内で既存の引戸錠ストライクの加工をさけたリノバ引戸錠ストライクの中心位置を決め、算出公式にて本体引手・引戸錠加工位置を指定してください。 ※発注は本体引手中心位置(MA)の発注になります。</p> <p>〈引戸錠ストライク中心位置変更範囲〉 ※既存敷居面から計測してください。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td colspan="2">カバー材なしの場合</td> <td>941.5mm以上1441.5以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">カバー材ありの場合</td> <td>縦枠・鴨居をカバーした場合</td> <td rowspan="2">943mm以上1443以下</td> </tr> <tr> <td>縦枠・鴨居・敷居をカバーした場合</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈本体引手加工位置(MA)算出公式〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>MA</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カバー材なしの場合</td> <td>引戸錠ストライク中心位置-141.5mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">カバー材ありの場合</td> <td>縦枠・鴨居をカバーした場合</td> <td rowspan="2">引戸錠ストライク中心位置-143mm</td> </tr> <tr> <td>縦枠・鴨居・敷居をカバーした場合</td> </tr> </tbody> </table> 	カバー材なしの場合		941.5mm以上1441.5以下	カバー材ありの場合	縦枠・鴨居をカバーした場合	943mm以上1443以下	縦枠・鴨居・敷居をカバーした場合		MA	カバー材なしの場合	引戸錠ストライク中心位置-141.5mm	カバー材ありの場合	縦枠・鴨居をカバーした場合	引戸錠ストライク中心位置-143mm	縦枠・鴨居・敷居をカバーした場合	<input type="checkbox"/>	<p>引手位置(MA) _____mm</p>													
		カバー材なしの場合		941.5mm以上1441.5以下																												
		カバー材ありの場合	縦枠・鴨居をカバーした場合	943mm以上1443以下																												
縦枠・鴨居・敷居をカバーした場合																																
	MA																															
カバー材なしの場合	引戸錠ストライク中心位置-141.5mm																															
カバー材ありの場合	縦枠・鴨居をカバーした場合	引戸錠ストライク中心位置-143mm																														
	縦枠・鴨居・敷居をカバーした場合																															

発注時の必要寸法